

KTN テレビ長崎



所在地：長崎県長崎市金屋町1-7
 スタジオ面積：231㎡(69坪)有効約60坪
 施主：株式会社テレビ長崎
 更新施工：東芝エリティーエンジニアリング様
 更新完成：2017年1月16日

開局以来38年の経過によりスタジオ照明設備の老朽化が進んでいたため、調光、昇降、インフラ設備(負荷、制御、Ethernet、通信配線)のフルLED化リニューアル更新が行われました。

情報番組の「ヨジマル!」を主とする制作スタジオをフルLED化リニューアル

今回リニューアルされた第1スタジオは、長崎の地域密着性情報を、市場のような活気あふれる内容で番組が進められている「ヨジマル!」を主に制作。毎日替わりの内容となる中継コーナーが設けられています。

スタジオ内に設けられている7.4m高のグリッドパイプには更新された昇降照明バトンに設置したLEDスポットライトFORTEXやLEDフラッドライトSタイプ、それに壁面を照らすLEDアップパーホリゾンライトを設置しています。

照明バトン・調光操作卓・ワイヤレス操作器など最新型を採用した制作スタジオ設備

照明バトンは、LED対応型LEDスマートセンピを採用し、照明バトンにDMXアドレス表示のほか接続器具の状態表示機能を搭載。積載荷重、定格消費電力のほか、昇降動作時のバトン名称発光表示の注意喚起を行う仕様としています。

操作卓は最新型LEDベルトフェーダ卓で23型タッチモニターにより直感的なLED調光操作とカラー制御を可能としました。カラー制御設定がマルチファンクション釦でベルトフェーダに割付けできる仕様です。スタジオレイアウト表示された画面に照明器具のアイコンがポップアップされる照明器具自動認識機能を搭載しています。また、配置された照明器具を含めたスタジオレイアウトが仕込図としてプリントアウトできます。照明器具をRDM通信でモニタリングして通電時間、点灯時間、定格消費電力DMXNo、形名等の情報が確認できます。

ワイヤレス操作器はA4タブレット形、調光・昇降操作が可能で操作卓モニターと同じ感覚でタッチ操作を可能にしています。

こうした新機能を取り入れたことで、運用上の高所作業の減少による安全性の確保とLED照明器具のメンテナンス予測など効率的な設備計画の立案や運用管理が可能となり、専門性の高い制作スタジオとなりました。



LED対応型LEDスマートセンピを採用し、LEDスポットFORTEXおよびLEDフラッドライトに照明リニューアルした第1スタジオ



LEDスマートコンソール ベルトフェーダ卓の最新型調光操作卓(左)とワイヤレス操作器(右)



自動認識された照明器具レイアウト



LED対応型LEDスマートセンピ



定格消費電力を表示した照明バトン

主な納入機器一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
第1スタジオ	1.5kW相当LEDスポット FORTEX-Plus	AL-LED-FSP-L	15	LED 消費電力:286W
	1kW~1.2kW相当LEDスポット FORTEX	AL-LED-FSH-L	20	LED 消費電力:237W
	500W~750W相当LEDスポット FORTEX-Jr	AL-LED-FSJ-L	5	LED 消費電力:140W
	1kW相当LEDフラッドライト Sタイプ	AL-LED-SQA-L	18	LED 消費電力:159W
	LEDアップパーホリゾンライト	AL-LED-UH-4L-C	35	LED 消費電力:140W
	LEDローパーホリゾンライト	AL-LED-LH-4L	33	LED 消費電力:140W